

## ま え が き

平成15年度におこなわれた本校の研究の中から、このたび4名の個人研究と1編の共同研究(2名)、海外日本人学校視察報告、および各学年の取り組みの計9編を研究紀要第33集としてまとめましたので、ここにご報告します。

今回ご報告する研究のうち、個人研究は、男女共同参画社会の実現を視野に入れた家庭科の実践報告、エネルギー教育実践校としてエネルギー・環境問題を扱った理科の実践報告、環境問題を扱うにあたって「6色ハット討議法」を取り入れた理科の実践報告、心の教育プログラム開発として「コラージュワーク」を組み込んだ授業を実践した保健体育科からの報告、の4本です。

共同研究としては、文部科学省のSPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)事業の一環として数学科と理科からの実践報告、また、在東南アジア日本人学校を視察訪問した際の報告があります。

また最後には、各学年による総合学習の実践報告と年間の総合カリキュラムを掲載してあります。

皆様方の率直なご批判とご指導をいただき、今後の研究の一層の充実を図りたいと願っております。

平成16年12月

お茶の水女子大学附属中学校校長  
小 川 昭二郎